

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨンキユウ

コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠岡 恒三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長

(氏名) 善家 富夫

TEL 0895-24-0001

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,315	9.7	806	99.5	923	91.2	524	43.8
24年3月期第2四半期	15,783	16.5	404	166.5	483	89.5	365	△11.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 469百万円 (21.5%) 24年3月期第2四半期 386百万円 (6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	45.55	—
24年3月期第2四半期	36.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,941	19,711	82.3
24年3月期	23,045	19,368	84.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 19,711百万円 24年3月期 19,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	11.00	11.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	12.9	1,351	71.1	1,550	54.6	920	8.9	79.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,556,084 株	24年3月期	11,556,084 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	32,649 株	24年3月期	32,719 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	11,523,370 株	24年3月期2Q	9,943,482 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成24年11月30日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定となっております。なお、当説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ上に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景に消費マインドが持ち直し、設備投資・雇用情勢にも改善の動きが見られるものの、欧州の金融不安等を背景に海外景気には減速の動きが広まっていることから、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

また、養殖業界におきましては、ハマチ・カンパチの在池量が多く魚価の低迷に加え、7月に宇和海沿岸で発生した赤潮によりタイ・ハマチ・カンパチ等の養殖魚にも被害が出るなど、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、新規市場の開拓など国内市場における販売シェア向上に努めました。また、うなぎ養殖事業を行う新会社「株式会社西日本養鰻」の設立などにも取り組んでまいりました。

その結果、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の両事業において販売数量が増加したことにより、売上高は増収となりました。

また、利益面に関しましては、営業力の強化と業務の効率化等を進めたことで利益率が改善（売上総利益率で13.3%から15.0%、1.7ポイント上昇）し、経費面では、前年同期に比べ、販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金繰入額が減少（2億34百万円から89百万円に減少）したことにより、各利益は大幅な増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は173億15百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は8億6百万円（前年同期比99.5%増）、経常利益は9億23百万円（前年同期比91.2%増）、四半期純利益は5億24百万円（前年同期比43.8%増）となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。みなし取得日が平成23年6月30日であるため、前第2四半期連結累計期間における株式会社海昇の業績は、平成23年7月1日から平成23年9月30日までの3ヶ月間を連結しております。

また、平成24年9月に設立した新会社「株式会社西日本養鰻」（当社100%出資子会社）の当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	平成24年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	平成25年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	10,494	11,483	988	9.4
餌料・飼料の販売事業	5,202	5,751	549	10.6
その他の事業	86	79	△6	△7.2
合計	15,783	17,315	1,531	9.7

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」では、ハマチ、カンパチ及び加工品で販売価格が低下しましたが、販売数量の増加により、売上高は増収となりました。

また、利益面では、利益率の高い稚魚及び人工ふ化稚魚の販売数量が増加したことなどにより、セグメント利益も前年同期の損失10百万円から利益を計上することとなりました。

この結果、売上高は114億83百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は1億52百万円（前第2四半期連結累計期間は、セグメント損失10百万円）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」でも同様に、販売数量の増加と利益率の改善により、増収増益となりました。

この結果、売上高は57億51百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益は6億88百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

「その他の事業」では、売上高は79百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント損失は1百万円（前第2四半期連結累計期間は、セグメント損失9百万円）となりました。

その内容は、「四急運輸株式会社」の運送事業に係る業績は、売上高は79百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント損失は0百万円（前第2四半期連結累計期間は、セグメント利益0百万円）であります。

また、「日振島アクアマリン有限責任事業組合」の損益は、セグメント損失0百万円（前第2四半期連結累計期間はセグメント損失9百万円）であります。

なお、「株式会社西日本養鰻」の損益に与える影響は軽微であります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は202億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億94百万円増加いたしました。これは主に短期貸付金が2億2百万円減少し、受取手形及び売掛金が9億55百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は37億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1百万円増加いたしました。これは主にのれんの償却等により無形固定資産が46百万円減少し、活魚車の購入、マグロ生簀の増設等により有形固定資産が73百万円増加、投資有価証券の購入等により投資その他の資産が74百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は239億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億96百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は40億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億85百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6億59百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は1億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億32百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が3億26百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は42億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億53百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は197億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が3億98百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.3%（前連結会計年度末は84.1%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、69億51百万円となり、前年同期に比べ23億66百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は6億4百万円（前年同期比22.6%減）となり、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上（8億24百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億44百万円（前年同期比87.0%減）となり、これは主に投資有価証券の取得による支出（2億1百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億26百万円（前年同期比59.0%増）となり、これは主に配当金の支払い（1億26百万円）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、ほぼ計画通りに推移しております。

売上高は、ハマチ・カンパチの魚価の見込相違もあり対計画比で7.1%減、各利益は、利益率の改善や貸倒引当金繰入額の減少等により、対計画比で営業利益は12.9%増、経常利益は14.8%増、四半期純利益は9.6%増となっております。

なお、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、株式会社西日本養鰻を新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,949千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,706,963	13,933,261
受取手形及び売掛金	5,131,167	6,087,046
有価証券	100,378	—
商品及び製品	344,611	420,349
仕掛品	228,270	143,861
貯蔵品	10,161	8,637
短期貸付金	1,224,871	1,022,111
その他	73,429	84,787
貸倒引当金	△1,384,011	△1,469,335
流動資産合計	19,435,843	20,230,720
固定資産		
有形固定資産	1,840,114	1,913,565
無形固定資産		
のれん	398,444	351,568
その他	2,242	2,197
無形固定資産合計	400,686	353,765
投資その他の資産		
その他	1,607,822	1,585,155
貸倒引当金	△239,308	△141,784
投資その他の資産合計	1,368,514	1,443,370
固定資産合計	3,609,315	3,710,701
資産合計	23,045,159	23,941,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,375,617	3,035,053
未払法人税等	382,361	224,421
賞与引当金	17,109	16,335
その他	419,968	804,721
流動負債合計	3,195,056	4,080,532
固定負債		
退職給付引当金	148,107	142,288
役員退職慰労引当金	333,334	6,883
固定負債合計	481,442	149,171
負債合計	3,676,498	4,229,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	3,124,276	3,124,310
利益剰余金	14,080,591	14,478,705
自己株式	△15,837	△15,803
株主資本合計	19,376,645	19,774,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,984	△63,109
その他の包括利益累計額合計	△7,984	△63,109
純資産合計	19,368,661	19,711,718
負債純資産合計	23,045,159	23,941,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,783,271	17,315,016
売上原価	13,690,941	14,715,178
売上総利益	2,092,329	2,599,838
販売費及び一般管理費	1,687,844	1,792,871
営業利益	404,485	806,966
営業外収益		
受取利息	53,152	56,011
受取配当金	3,159	3,808
投資不動産賃貸料	23,287	22,026
その他	30,846	60,898
営業外収益合計	110,446	142,745
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	12,045	10,239
投資事業組合運用損	10,726	1,426
為替差損	7,528	7,323
その他	1,311	6,767
営業外費用合計	31,612	25,756
経常利益	483,319	923,955
特別利益		
固定資産売却益	408	2,891
受取和解金	17,500	—
特別利益合計	17,908	2,891
特別損失		
固定資産除却損	140	321
投資有価証券評価損	—	2,236
役員退職慰労金	—	99,590
特別損失合計	140	102,149
税金等調整前四半期純利益	501,087	824,697
法人税、住民税及び事業税	144,809	219,159
法人税等調整額	△8,748	80,666
法人税等合計	136,060	299,825
少数株主損益調整前四半期純利益	365,027	524,871
少数株主損失(△)	△26	—
四半期純利益	365,053	524,871

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	365,027	524,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,566	△55,125
その他の包括利益合計	21,566	△55,125
四半期包括利益	386,593	469,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386,620	469,746
少数株主に係る四半期包括利益	△26	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	501,087	824,697
減価償却費	63,450	60,122
のれん償却額	23,437	46,875
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,720	△5,819
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15,708	△326,451
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,572	△774
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	226,723	△12,199
受取利息及び受取配当金	△56,312	△59,819
固定資産売却損益 (△は益)	△408	△2,891
固定資産除却損	140	321
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2,236
投資不動産賃貸収入	△23,287	△22,026
投資不動産賃貸費用	12,045	10,239
売上債権の増減額 (△は増加)	△450,579	△626,893
たな卸資産の増減額 (△は増加)	147,041	10,194
仕入債務の増減額 (△は減少)	430,752	659,436
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,242	△56,303
その他	△126,757	425,862
小計	748,161	926,807
利息及び配当金の受取額	44,292	52,943
法人税等の支払額	△12,105	△375,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	780,348	604,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1,000,014	△600
有価証券の償還による収入	—	100,000
投資有価証券の取得による支出	△4,421	△201,966
有形固定資産の取得による支出	△102,407	△127,314
有形固定資産の売却による収入	476	3,147
投資不動産の賃貸による収入	23,287	22,026
投資不動産の賃貸による支出	△6,446	△5,011
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△25,503	—
貸付けによる支出	△1,507,359	△241,713
貸付金の回収による収入	731,897	212,695
その他	9,811	△6,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,880,679	△244,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△22	—
自己株式の売却による収入	—	68
配当金の支払額	△79,391	△126,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,414	△126,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,524	△7,323
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,187,270	225,697
現金及び現金同等物の期首残高	5,771,861	6,725,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,584,591	6,951,261

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,494,356	5,202,741	15,697,097	86,174	15,783,271	—	15,783,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,225	66,095	71,320	98,973	170,294	△170,294	—
計	10,499,581	5,268,836	15,768,418	185,147	15,953,565	△170,294	15,783,271
セグメント利益又は 損失(△)	△10,902	442,789	431,886	△9,517	422,368	△17,883	404,485

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント損失の調整額△17,883千円には、セグメント間取引消去における内部利益△1,232千円、のれん償却額△23,437千円及びその他の調整額6,786千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

5. 前連結会計年度の末日に比べて、当第2四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要については、株式会社海昇の全株式取得による子会社化に伴うものであり、その影響額は、鮮魚の販売事業で305,728千円、餌料・飼料の販売事業で1,632,205千円及び調整額で1,535,995千円がそれぞれ増加しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる当第2四半期連結累計期間ののれんの金額は445,319千円であります。なお、当該金額は報告セグメントに属さない全社資産（調整額）に含めております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,483,288	5,751,775	17,235,064	79,952	17,315,016	—	17,315,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	97,250	97,256	84,860	182,117	△182,117	—
計	11,483,294	5,849,025	17,332,320	164,812	17,497,133	△182,117	17,315,016
セグメント利益又は 損失 (△)	152,722	688,883	841,605	△1,725	839,879	△32,913	806,966

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業、マグロ養殖事業及びうなぎ養殖事業）であります。

2. セグメント損失の調整額△32,913千円には、セグメント間取引消去における内部利益△4,157千円、のれん償却額△46,875千円及びその他の調整額18,119千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、新会社「株式会社西日本養鰻」（当社100%出資子会社）を設立いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

また、会計方針の変更（減価償却方法の変更）に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「鮮魚の販売事業」で1,549千円、「餌料・飼料の販売事業」で399千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。